


- 1 対象となる幼児児童生徒  
訪問学級在籍児童（肢体不自由、重度重複）
- 2 教材を使用する活動  
自立活動
- 3 ねらい
  - ①包まれる安心感を得る。（2心理的な安定）
  - ②寝返り運動を楽しむ。（4環境の把握、5身体の動き）

教材の使い方	配慮点
<p>①下記のようにマットを巻く。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>○股関節脱臼のある生徒の場合や股関節脱臼しそうな生徒を把握すること。（膝をそろえることで脱臼する生徒は行わない。）</li> <li>○手を胸の前で組むか、上げる（バンザイの格好）</li> <li>○回る時以外は、顔を覆わないようにするために、写真のように巻き始めを体の中心にする（表情の確認。呼吸の確認。）</li> <li>○寝返りをするときにはマットで顔も覆う。</li> <li>○回る際には恐怖心を与えないために、言葉かけを行いながら、ゆっくりとした回転から行うこと。</li> <li>○手の位置と足の位置、首の向きを毎回確認すること。</li> </ul>
<p>②斜めのマットの上からゆっくりと転がすことで、生徒自身で寝返りが始められるようにする。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>○平坦での寝返りを楽しめる生徒は、傾斜を利用して寝返りをさせる。はじめは教師が軽く押すか、ゆっくりと転がす。</li> </ul> <p>※暑いので冬限定の教材です。</p>